

SCHOOL DATA

〒290-0232 市原市皆吉933-2
TEL 0436-92-0022 FAX 0436-92-4452

■児童数/363人 ■教職員数/27人 ■周辺環境/水田 (平成21年5月1日現在)



市原市立牛久小中学校



【ビオトープの風景】



【ビオトープの植生調べ】

ビオトープの概要

- 場所/学校敷地内
- 面積/200㎡
- 設置者/牛久小中学校PTA
- 設置した年/2001年
- 直近の改修年/2008年
- 主な管理者/ネイチャー委員会・理科主任



【ビオトープの構成】

常緑および落葉木、池および小川
ソーラーパネル



児童・生徒等の変容

地域の生物とその生息環境を観察することにより、地域の自然により理解を深め、環境への意識を高めることができた。また、日常的に動植物にふれあうことにより、命の大切さを理解し、優しい心を持つことができるようになってきた。

地域の自然を学校内に移すことにより、自然観察会では自然環境をより身近に感じながら観察を行うことができた。



【カワニナの観察】

地域住民・NPO・近隣学校等との連携

地域の方の希望者を中心に年一回の自然観察会を行い、地域の自然環境を知ってもらい、環境保全に役立てている。

地域の方に協力してもらい「カワニナ」や「ホタルの幼虫」の放流を行う。今後繁殖に成功すればホタルの観察会も予定している。

管理・活用する上での、教職員・児童生徒の感想

- ・外来種であるザリガニやカエルが増えているので駆除し、地域に生息する生き物を増やしたい。
- ・植物も繁殖力の強いものについては、手入れする回数を増やし、繁殖を制限させていきたい。
- ・ソーラーシステム用のバッテリーを設置したい。
- ・ソーラーパネルに光が当たると噴水から水が出るのがおもしろい。
- ・ビオトープに行くといろいろな生きものに会えて新しい発見がある。

今後の活用

1、2年生の生活科や5年生の理科学習においてザリガニやメダカの観察を行う。また、ネイチャー委員会が児童集会でビオトープの様子について全校に報告する。小川にカワニナおよびホタルの幼虫を放流する。